

笹川保健財団 地域啓発活動助成

(西暦) 2020年 2月 5日

公益財団法人 笹川保健財団
会長 喜多悦子 殿

2019年度地域啓発活動助成

活 動 報 告 書

標記について、下記の通り活動報告書を添付し提出いたします。

記

活動課題

40代の在宅看取りの事例から人生会議について考える

活動団体名： 幹在宅看護センター

活動者（助成申請者）名： 丸山 美智子

1. 活動の内容・実施経過

テーマ「ひもとき人生会議」

40代・70代の在宅看取りの事例から人生会議について考える

日時 2019.11.24 14:00~16:00

場所 和歌山南コミュニティセンター

参加人数 62名

当センターで訪問を行った40代と70代の在宅看取りの事例をイラスト等を用いて参加者と共有。それぞれの利用者の意思決定場面、本人の意思を多職種で共有しサポートしたことにより、意思決定に沿った人生の最期を迎えられた事例を紹介した。その後参加者でもしバナゲームを行い、もし自分が、自分の大事な人が人生の最終段階に立った時、何を大切にするのかを話し合った。元気なころから話し合っておくことが人生会議であることを共有した。

各グループで感想や気づいたことを一言ずつ発表してもらった。

2. 活動の成果

アンケートによると44%が人生会議という言葉を知らない状態で参加されていたのだが、研修終了後90%の参加者が研修内容に関してよく理解できたと回答。

少し理解できたと合わせると100%の回答となったことから人生会議についての理解を深められたのではないかと考えられる。今回、地元地域の情報紙に当センターで訪問をおこなっている利用者が在宅生活についての取材を受けた。その記事とともに当研修を紹介してもらったため、参加者の約40%が医療、福祉とは関係のない職業の人だった。また、研修に参加した人たちがその後、自施設、看護学校などで研修を開いたと報告があり、少しずつ広がる一助となったと考える。

3. 今後の課題

研修に参加していただいた方には理解を深めていただくことは可能だがそもそも研修等に全く興味を示さない人たちに対してのアプローチが難しい。

もしバナゲームは具体的にみんなで話し合いながら人生会議への理解を深めるツールとして有用であると思われることから高校の授業や地域の催し物での開催などより広い範囲での啓発活動を行っていきたい。

4. 活動の成果等の公表予定

令和元年12月17日 13時~15時 紀の川市地域包括センター主催

「ACPについて」講義

令和2年2月29日 13時~17時 和歌山人工呼吸安全推進機構主催

「在宅看護：医療的ケア児を中心に」のなかで紹介予定